

2017 Transforming Undergraduate STEM Education in Japan

Held in Hokkaido University

近い将来人工知能とロボット技術の発達により現在の職業の半数が消滅すると言われていた今、現在の学生には、よりいっそうの創造性が求められています。こうしたことから、多くの国の大学では、STEM (Science Technology Engineering Mathematics) 教育の改革を続けています。これは、斬新な販売手法など一見理系に見えないものも含めて、多くのイノベーションが、理系の技術革新に支えられているからです。

現在 STEM 分野では分野毎に有効だとする証拠がある教育手法が数多く開発されています。しかし、多くは、教員ベースであって、大学全体としての組織的取組とはなっていません。そのため、大学の組織的教育改革が最も注目を集めているテーマとなっています。この会議では、それぞれの発表者が、アメリカやカナダの STEM 教育改善の組織的取組の成功例について報告します。

この会議が出席する関係者の大学での教育改善に有用となることを望みます。

なおこの会議の発表はすべて英語で行われます。

場所 北海道大学理学部本館 N-308 号室

日時: 2017 年 2 月 1 3 日 (月) 9:30~16:00

発表予定タイトル

○9:30~10:30 「AAU STEM Initiative による組織的 STEM 教育改善とコロラド大学ポールダー校の報告」 齊藤準 (帯広畜産大学)

○10:45~11:45 「AAC&U STEM Education Meeting 2016 の報告」

Wakeman Kevin と Zhou Bo (北海道大学)

○13:00~14:00 「カナダ QUEST 大学のリベラルアーツ教育」 瀬戸治 (北海道大学)

○14:15~15:15 「オーリン工科大学の教育イノベーション」 吉永契一郎 (金沢大学)

会議前日の 2 月 1 2 日まで札幌雪祭りが開催されておりますので、参加希望者はお早めに航空券をお求めください。またトークやポスターの申し込みも受け付けます。

主催者 鈴木久男 (北海道大学), 吉永契一郎 (金沢大学), 瀬戸治 (北海道大学)

主催: 北海道大学国際理学連携教育センター 共催: 大学教育学会

参加申し込みは下記まで

hsuzuki@particle.sci.hokudai.ac.jp (鈴木久男)

会場は北大博物館の3階です。

博物館は当日閉館ですが、入口から入ってすぐの階段から3階にお進みください。

